



平成17年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成16年8月11日

上場会社名 日本ピラー工業株式会社

（コード番号：6490 東証・大証1部）

(URL <http://www.pillar.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 岩波 清久
 問合せ先責任者 経理部長 辻 寛和

TEL：(06)6305-2801

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：無
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無：無

2. 平成17年3月期第1四半期の財務・業績概況（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満の端数切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	4,833	14.1	935	-	963	-	564	-
16年3月期第1四半期	4,238	-	-	-	-	-	-	-
(参考)16年3月期	17,934		1,562		1,546		379	

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第1四半期	27	83	-	-
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	15	15	-	-

(注) 1. 当四半期より四半期業績の開示を行っているため、売上高を除く前年同四半期実績および増減率については記載しておりません。

2. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	23,842	15,032	63.1	741 71
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	22,180	14,649	66.0	719 83

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	504	214	259	1,855
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	712	895	963	1,305

3. 平成17年3月期の連結業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

業績予想につきましては平成16年5月19日に公表いたしました業績予想を修正し、平成16年7月30日に「業績予想の修正に関するお知らせ（連結及び単独）」を開示しております。

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	9,600	1,400	800
通期	19,000	2,500	1,500

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 71円 12銭

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

平成17年3月期 第1四半期経営成績及び財政状態の概況（連結）

経営成績(連結)の進捗状況

当第1四半期は輸出や、民間設備投資に支えられ景気は回復基調を持続しております。また、エレクトロニクス業界におきましてはデジタル家電、パソコンの買い替え需要などが牽引役となり、半導体・液晶メーカーの設備投資が一気に加速いたしました。

このような状況のもと、当社グループの業績はメカニカルシール、グランドパッキンなどのシール製品は石油精製・石油化学業界向けなどで受注が順調に推移いたしました。

また、ピラフロン製品は半導体・液晶製造装置メーカーからの受注が集中し、好調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期の連結の業績につきましては売上高48億33百万円（前年同期比14.1%増）、経常利益9億63百万円、四半期純利益5億64百万円となりました。

第1四半期の連結売上高を部門別に見ますとMS部門（メカニカルシール部門）は13億2百万円、GP部門（グランドパッキン・ガスケット部門）は9億50百万円、PF部門（ピラフロン部門）は25億62百万円、その他部門（不動産賃借）は18百万円となりました。

財政状態(連結)の変動状況

当第1四半期のキャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは税金調整前四半期純利益が9億62百万円と大きく寄与し、これに減価償却費、引当金、売上債権、棚卸資産、仕入債務などを加減し、5億4百万円の資金増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは主に生産設備などの取得によるもので、2億14百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは決算・賞与資金の借入により短期借入金が増加したため、2億59百万円の増加となりました。

この結果、現金及び現金同等物の第1四半期末残高は、前連結会計年度末比5億50百万円増加し18億55百万円となりました。

当期の連結業績見通し

第2四半期以降も、当面は半導体・液晶関連のピラフロン製品ならびに産業機器関連のメカニカルシール、グランドパッキン製品の堅調な受注が継続するものと考えております。利益面では材料費の値上げによる影響はあるものの、合理化・効率化を一層推進し、コストダウンに努めてまいります。

なお、業績予想の詳細につきましては平成16年7月30日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ（連結及び単独）」のとおりであります。

要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第1四半期末 (平成16年6月30日現在)		前 期 末 (平成16年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%
流動資産	13,089	54.9	11,327	51.1
現金及び預金	1,990		1,640	
受取手形及び売掛金	8,495		7,822	
有価証券	210		9	
たな卸資産	1,898		1,490	
その他	504		375	
貸倒引当金	11		10	
固定資産	10,752	45.1	10,853	48.9
有形固定資産	7,844	32.9	7,981	36.0
無形固定資産	198	0.8	209	0.9
投資その他の資産	2,709	11.4	2,663	12.0
資産合計	23,842	100.0	22,180	100.0
(負債の部)				
流動負債	6,520	27.3	5,162	23.3
支払手形及び買掛金	2,228		1,858	
短期借入金	1,851		1,363	
その他	2,440		1,940	
固定負債	2,267	9.5	2,347	10.6
長期借入金	335		397	
退職給付引当金	1,506		1,527	
その他	426		423	
負債合計	8,788	36.8	7,510	33.9
(少数株主持分)				
少数株主持分	20	0.1	20	0.1
(資本の部)				
資本金	3,262	13.7	3,262	14.7
資本剰余金	3,027	12.7	3,027	13.6
利益剰余金	8,991	37.7	8,647	39.0
その他有価証券評価差額金	403	1.7	362	1.6
為替換算調整勘定	43	0.2	43	0.2
自己株式	608	2.5	606	2.7
資本合計	15,032	63.1	14,649	66.0
負債・少数株主持分及び資本合計	23,842	100.0	22,180	100.0

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第1四半期 〔自平成16年4月1日 至平成16年6月30日〕		前 期 〔自平成15年4月1日 至平成16年3月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	4,833	100.0	17,934	100.0
売 上 原 価	2,881	59.6	12,266	68.4
売 上 総 利 益	1,952	40.4	5,668	31.6
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,016	21.0	4,105	22.9
営 業 利 益	935	19.4	1,562	8.7
営 業 外 収 益	39	0.8	110	0.6
受 取 利 息 及 び 配 当 金	10		20	
そ の 他	28		89	
営 業 外 費 用	11	0.3	125	0.7
支 払 利 息	5		27	
そ の 他	5		97	
経 常 利 益	963	19.9	1,546	8.6
特 別 利 益	-	-	43	0.2
特 別 損 失	0	0.0	572	3.2
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	962	19.9	1,017	5.6
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	509	10.5	599	3.3
法 人 税 等 調 整 額	112	2.3	34	0.2
少 数 株 主 損 益	1	0.0	3	0.0
四 半 期 (当 期) 純 利 益	564	11.7	379	2.1

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第1四半期	前 期
	〔自平成16年4月1日〕 〔至平成16年6月30日〕	〔自平成15年4月1日〕 〔至平成16年3月31日〕
	金 額	金 額
・営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期(当期)純利益	962	1,017
減価償却費	220	1,046
賞与引当金の増減額(減少：)	252	12
退職給付引当金の増減額(減少：)	21	49
役員退職引当金の増減額(減少：)	3	11
受取利息及び受取配当金	10	20
支払利息	5	27
役員賞与	58	60
有形固定資産除却損	-	62
売上債権の増減額(増加：)	672	909
たな卸資産の増減額(増加：)	407	241
仕入債務の増減額(減少：)	369	43
未払消費税等の増減額(減少：)	44	113
その他の	68	324
小 計	668	1,838
利息及び配当金の受取額	10	25
利息の支払額	7	27
法人税等の支払額及び還付額(純額)	166	1,124
営業活動によるキャッシュ・フロー	504	712
・投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	-	744
有形・無形固定資産の取得による支出	193	1,450
その他の	20	188
投資活動によるキャッシュ・フロー	214	895
・財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(減少：)	506	37
長期借入による収入	-	300
長期借入金の返済による支出	81	288
配当金の支払額	162	340
自己株式の取得による支出	1	596
その他の	1	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	259	963
・現金及び現金同等物に係る換算差額	1	19
・現金及び現金同等物の増減額(減少：)	550	1,165
・現金及び現金同等物の期首残高	1,305	2,470
・現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,855	1,305

生産、受注及び販売の状況

1. 生産高

(単位：百万円)

	当第1四半期		前期	
	金額	構成比	金額	構成比
メカニカルシール	1,485		5,290	
グランドパッキン・パーティカルガスケット	862		2,983	
ピラフロン	2,540		8,673	
合計	4,887		16,947	

2. 受注高

(単位：百万円)

	当第1四半期		前期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
メカニカルシール	1,509	848	4,933	642
グランドパッキン・パーティカルガスケット	946	186	3,349	190
ピラフロン	2,673	1,056	9,179	944
合計	5,129	2,091	17,462	1,776

3. 販売高

(単位：百万円)

	当第1四半期		前期	
	金額	構成比	金額	構成比
流体制御関連機器事業				
メカニカルシール	1,302	26.9%	5,110	28.5%
グランドパッキン・パーティカルガスケット	950	19.7%	3,337	18.6%
ピラフロン	2,562	53.0%	9,411	52.5%
計	4,815	99.6%	17,859	99.6%
その他事業	18	0.4%	75	0.4%
連結売上高	4,833	100.0%	17,934	100.0%